

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
解剖学 I		(作) 必修 (福.人) 選択	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
志茂 聡 他	C306	sshimo	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	理学療法・作業療法など医療の専門領域を学ぶための基礎として、人体の構造と機能に関する正確な知識と理解が必須である。この科目では、人体の構成単位である「細胞」・「組織」・「器官」・「個体」という成り立ちをまず理解する。次いで機能的な「器官」のまとまりのうち「循環器系」・「呼吸器系」・「消化器系」・「泌尿生殖器系」を学ぶ。また「発生学」で受精卵から人体が出来上がる過程について学ぶ。同時並行で進められる解剖学実習で、標本を用いて器官や組織について学習する。また解剖学 I の学習を通して知識だけではなく生命に対する畏敬の念を養うことも目的とする。対面授業を基本に行うが、マイクロソフト Teams を使って資料の説明や、小テストを行う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	一般に人体の基本的構成単位は「細胞」と考えられているが、細胞同士は秩序を持ってまとまり「組織」となり、組織を部品として肉眼で見える「器官」がつくられる。さらに器官の機能的なまとまりの「器官系」を構成する。人体を理解する上で、この「細胞」→「器官系」の階層性を常に意識して欲しい。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版 /編：野村 巖 /医学書院 /2020				
参考書	プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト / 著：Anne M. Gilroy 監訳：中野 隆/ 医学書院 (2019) 標準組織学 総論・標準組織学 各論/ 藤田尚男・藤田恒夫/ 医学書院 (2017)				
外部教材	Anatomy: Cardiovascular, Urinary, and Respiratory Systems (MichiganX's Anatomy) Glen M Fox et al, edX				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人体の構成単位である細胞、組織、器官、個体の成り立ちを説明することができる。			HSU(2)、OT (1)、(2)	
②	各器官 (循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系) の構造特徴を説明できる。			HSU(2)、OT (1)、(2)	
③	肉眼レベルから顕微鏡レベルでの形態と構造および機能との関連を説明できる。			HSU(2)、OT (1)、(2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	細胞: 細胞構成要素について基本的構造と機能を学ぶ。 細胞の形と配列による上皮組織の分類を学ぶ。 [担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P. 9-15 配布資料で予習・復習	4	
2	組織: 支持組織、筋組織の特徴と機能について学ぶ。 神経細胞の構成要素について学ぶ。 [担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P. 15-20 配布資料で予習・復習	4	
3	循環器系 1: 血液と循環器の概略、動脈・静脈の基本的構造についてについて学ぶ。 [担当: 坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P. 335-337 配布資料で予習・復習	4	
4	循環器系 2: 心臓の構造について学ぶ。 [担当: 坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P. 337-341 配布資料で予習・復習	4	
5	小テスト (細胞・組織、心臓について) 循環器系 3: 身体各部の動脈について学ぶ。 [担当: 坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P. 341-350 配布資料で予習・復習	4	
6	循環器系 4: 身体各部の動脈・身体各部の静脈 (皮静脈・門脈・奇静脈など) について学ぶ。 [担当: 坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P. 350-354 配布資料で予習・復習	4	
7	循環器系 5: 胎生期の循環と出生後の循環器系の変化について学ぶ。リンパについて学ぶ。 [担当: 坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P. 354-359 配布資料で予習・復習	4	
8	呼吸器系: 気道と肺について学ぶ。 [担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P. 360-369 配布資料で予習・復習	4	
9	消化器系 1: 消化器の概略・消化管 (口・食道・胃・小腸・大腸) [担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P. 370-378 配布資料で予習・復習	4	
10	消化器系 2: 肝臓および膵臓の機能および腹腔内における臓器の位置関係について学ぶ。 [担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P. 378-381 配布資料で予習・復習	4	

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

11	小テスト（身体各部の脈管・呼吸・消化器のまとめ） 泌尿器系 1:泌尿器の概略について学ぶ。 [担当：志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P. 384 配布資料で予習・復習	4
12	泌尿器系 2: 腎臓および尿路（尿管、膀胱、尿道）について学ぶ。 [担当：志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P. 384-389 配布資料で予習・復習	4
13	生殖器系: 男女の生殖器について学ぶ。 [担当：志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P. 390-396 配布資料で予習・復習	4
14	内分泌系：各内分泌腺の特徴とホルモンについて学ぶ。 [担当：坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P. 398-404 配布資料で予習・復習	4
15	発生学: 胚子期および胎児期における主要な形態変化を理解し、 各器官への外・中・内胚葉の分化について学ぶ。 [担当：坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P. 21-36 配布資料で予習・復習	4
試	期末試験（泌尿・生殖器、発生学）			

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に期末テスト（34%）ならびに授業内におこなう小テスト（2回 合計 66%）で評価する。主に教科書および授業内で配布する資料中のキーワードから出題する。				テストを採点后、Teams を利用して講評	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

備 考	
他 担 当 教 員	坂本宏史
教員の実務経験	志茂聡は、解剖学で博士号（医学、山梨大学）を取得しており、本学（専任教員）および山梨大学医学部解剖学講座構造生物学教室（非常勤講師 令和4年現在）にて長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。作業療法士免許を有し、実務経験は10年である。 坂本宏史は、解剖学で博士号（医学）を取得しており、本学（専任教員）および山梨大学医学部で長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。
実践的授業の内容	人体の構造に関わる項目の概念は、書物や視聴覚教材によってある程度理解することができるが、臨床時に応用できるまでの確固たる知識や具体的イメージの獲得は簡単ではない。この授業では、実際に人体解剖に長年携わってきた教員により、経験に基づく多角的視点から具体的な解説がなされるため、臨床家を志す受講者や人体解剖学に興味がある受講者にとって、分かりやすく現実に即した知識を得ることができる。
そ の 他	対面で行う授業中となるが、資料提示や質問・コメントの受付に一部オンライン（Teams）を利用する。 また、授業内に予定している小テストは Teams を利用するため登校の際 PC を持参すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって、シラバスが変更される可能性がある。